



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス
コード番号 2899 URL <http://www.nagatanien-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松村 雅彦
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 03-3432-2511
平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,948	2.0	885	△39.4	911	△43.1	264	△74.2
27年3月期第2四半期	37,187	14.8	1,460	△3.6	1,601	6.4	1,022	11.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △226百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1,322百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	7.36	—
27年3月期第2四半期	28.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	66,066	44.0	29,139	44.0		
27年3月期	68,352	43.2	29,643	43.2		

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 29,052百万円 27年3月期 29,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.75	—	7.75	15.50
28年3月期	—	7.75	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.75	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	3.0	3,000	4.3	3,100	0.1	1,860	11.2	51.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付情報)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	38,277,406 株	27年3月期	38,277,406 株
28年3月期2Q	2,320,833 株	27年3月期	2,319,261 株
28年3月期2Q	35,957,472 株	27年3月期2Q	36,049,852 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年10月1日に会社名を「(株)永谷園」から「(株)永谷園ホールディングス」に変更しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策による企業収益の向上や雇用環境の改善による個人消費の持ち直しの動きが見られましたが、中国の景気減速を始めとする海外景気の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高379億48百万円(前年同期比2.0%増)となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰による製造コストの上昇などにより、営業利益8億85百万円(同39.4%減)、経常利益9億11百万円(同43.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、米国子会社において減損損失を計上したことにより2億64百万円(同74.2%減)となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

①食料品事業

既存商品では、主力ブランドにおける価値の再訴求に注力いたしました。具体的には、「あさげ」シリーズ、「おとなのふりかけ」、中華惣菜の素(「麻婆春雨」、「広東風かに玉」等)において、“ごはんにピタリ”を共通のキーワードにテレビ媒体を中心としたプロモーションを展開したことにより、前年を上回る売上が獲得いたしました。

新商品では、野菜と果物が入った健康感あるスープ「ホットスムージースープ」及びスチームオープン製法で肉・野菜の旨みとコクを最大限に引き出した「超ふりかけ」シリーズにおける新たなメニューとして「超ふりかけ カレー」を8月に発売いたしました。また、人気の「1杯でしじみ70個分のちから みそ汁」に続く商品として、普段の食事からは摂りづらいグルコサミンを手軽に摂取できる「かにのちから みそ汁」を9月に発売いたしました。

以上の結果、食料品事業の売上高は322億80百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

なお、お茶づけ商品、ふりかけ商品、スープ商品などの一部商品において、昨今の原材料価格の高騰や物流およびエネルギーコストの上昇から商品価格の維持が困難となり、7月より価格改定を行いました。

②中食その他事業

麦の穂グループにおいて、国内スイーツ関連店舗では新規F Cの出店や既存店舗の出店立地の見直しにより収益の向上に取り組みました。また、「ピアードパパ」において月替りの限定シュークリーム「ゴールデンパイシュー(7月)」「塩バニラシュー(8月)」の人气が店舗の売上増に貢献いたしました。さらに、高級シュークリーム専門店「CHOUXCREAM CHOUXCRI(シュクリムシュクリ)」が、3月のオープン以降もお客様から高評価をいただいております、売上が順調に推移いたしました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は56億68百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

なお、米国でテイクアウトの寿司事業を展開しているNIKKO ENTERPRISE CORPORATIONについて、重要性が増したため、「中食その他事業」に区分し、当第2四半期連結会計期間より連結の業績に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より22億86百万円減少し、660億66百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より17億82百万円減少し、369億27百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金、長期借入金並びに流動負債その他に含まれる未払金が減少したことによるものです。また、純資産は主に、その他有価証券評価差額金が減少したことにより291億39百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より5億円減少の290億52百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント上昇の44.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、平成27年5月15日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、特定子会社の異動には該当していませんが、NIKKO ENTERPRISE CORPORATIONについては重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結累計期間の期首より、(株)ユニネットは、(株)永谷園プロパティを存続会社とする吸収合併により消滅しており、(株)ふじの華は、藤原製麺(株)を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,195	7,474
受取手形及び売掛金	10,454	9,557
商品及び製品	4,045	3,868
仕掛品	618	676
原材料及び貯蔵品	4,242	4,139
その他	1,511	1,593
貸倒引当金	△9	△4
流動資産合計	29,059	27,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,628	17,656
減価償却累計額	△10,368	△10,594
建物及び構築物(純額)	6,259	7,062
機械装置及び運搬具	14,101	14,483
減価償却累計額	△10,712	△10,982
機械装置及び運搬具(純額)	3,388	3,501
土地	11,419	11,408
リース資産	2,233	2,354
減価償却累計額	△1,161	△1,185
リース資産(純額)	1,071	1,168
建設仮勘定	663	22
その他	2,067	2,169
減価償却累計額	△1,639	△1,680
その他(純額)	427	488
有形固定資産合計	23,230	23,652
無形固定資産		
のれん	6,175	6,092
その他	106	135
無形固定資産合計	6,282	6,227
投資その他の資産		
投資有価証券	8,121	7,287
その他	1,766	1,702
貸倒引当金	△107	△109
投資その他の資産合計	9,780	8,881
固定資産合計	39,293	38,761
資産合計	68,352	66,066

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,978	7,128
短期借入金	4,726	6,275
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	397	361
賞与引当金	597	572
資産除去債務	5	13
その他	6,927	6,214
流動負債合計	20,631	25,565
固定負債		
社債	5,000	—
長期借入金	9,756	8,297
役員退職慰労引当金	15	20
退職給付に係る負債	295	366
資産除去債務	231	235
その他	2,778	2,442
固定負債合計	18,077	11,361
負債合計	38,709	36,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	23,035	22,983
自己株式	△2,065	△2,067
株主資本合計	30,804	30,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854	1,426
土地再評価差額金	△3,406	△3,405
為替換算調整勘定	165	248
退職給付に係る調整累計額	134	32
その他の包括利益累計額合計	△1,252	△1,698
非支配株主持分	90	87
純資産合計	29,643	29,139
負債純資産合計	68,352	66,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	37,187	37,948
売上原価	19,895	20,828
売上総利益	17,292	17,119
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,932	6,046
賞与引当金繰入額	312	302
その他	9,586	9,884
販売費及び一般管理費合計	15,832	16,234
営業利益	1,460	885
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	69	66
不動産賃貸料	70	70
その他	145	56
営業外収益合計	286	196
営業外費用		
支払利息	86	86
その他	58	83
営業外費用合計	144	170
経常利益	1,601	911
特別利益		
受取和解金	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
減損損失	3	200
会員権売却損	—	7
店舗閉鎖損失	0	2
特別損失合計	4	210
税金等調整前四半期純利益	1,627	700
法人税等	604	442
四半期純利益	1,022	258
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022	264

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,022	258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	322	△425
土地再評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△30	41
退職給付に係る調整額	8	△102
その他の包括利益合計	300	△485
四半期包括利益	1,322	△226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,321	△223
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,627	700
減価償却費	904	909
減損損失	3	200
のれん償却額	168	208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△24
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	△83
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	5
受取利息及び受取配当金	△71	△69
支払利息	86	86
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
その他の営業外損益(△は益)	△14	0
その他の償却額	27	31
有形固定資産除売却損益(△は益)	9	19
売上債権の増減額(△は増加)	464	911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,068	234
仕入債務の増減額(△は減少)	854	△880
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△110	△674
未払消費税等の増減額(△は減少)	138	△286
その他の資産・負債の増減額	1	△5
小計	2,995	1,281
利息及び配当金の受取額	70	66
利息の支払額	△88	△89
法人税等の支払額	△1,031	△453
法人税等の還付額	1	72
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,948	878

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△12
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,311	△1,044
有形固定資産の売却による収入	10	11
関係会社貸付けによる支出	△37	△165
短期貸付金の回収による収入	—	7
投資有価証券の取得による支出	△5	△48
投資有価証券の売却による収入	1	0
子会社株式の取得による支出	△50	△10
関係会社出資金の払込による支出	△39	—
差入保証金の差入による支出	△60	△32
差入保証金の回収による収入	30	46
保険積立金の解約による収入	—	19
その他	△21	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,497	△1,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	683	△614
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△204	△214
長期借入れによる収入	—	1,296
長期借入金の返済による支出	△608	△610
自己株式の純増減額(△は増加)	△110	△1
配当金の支払額	△279	△278
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△182	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△279	△746
現金及び現金同等物の期首残高	8,460	8,187
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	14
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,272	7,454

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	食料品事業	中食その他 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	32,404	4,783	37,187	—	37,187
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2	1	3	△3	—
計	32,406	4,785	37,191	△3	37,187
セグメント利益	1,330	129	1,460	—	1,460

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	食料品事業	中食その他 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	32,280	5,668	37,948	—	37,948
セグメント間の内部売上高又は 振替高	9	4	13	△13	—
計	32,289	5,672	37,961	△13	37,948
セグメント利益	965	△80	885	—	885

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「中食その他事業」セグメントにおいて200百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。